

学校だより

# 雪小っ子

NO. 49

西海市立雪浦小学校

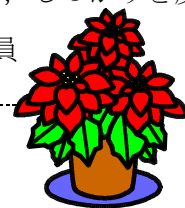
校長 浅田 眞理

平成28年12月12日 発行

## 学校教育に関する保護者アンケート結果（御意見・御要望）に関する回答

本年度、学校経営に関する全体計画を見直し、新たな学校教育目標具現化のための重点目標を設定し、具体的取組内容16項目（学校だよりNo2掲載）を設け、それを評価項目として（児童用14項目）今回、第2回目の学校評価を行いました。その結果は学校だよりNo48に掲載しているとおりですが、今後学校としましては、冬季休業中に教職員全員でこの結果を見つめ直し、しっかりと反省・吟味した上で3学期以降の学校教育に生かし、改善に励んでいきたいと思ひます。

また、数名の方からいただいたありがたいお言葉や励ましの言葉、御意見等を教職員皆で共有し、なお一層頑張っていきたいと思ひます。ありがとうございました。



- 学力面は保護者にとって気になるところだが、体験学習や文化芸術による子どもの育成事業、ふれあい集会など、すばらしい経験を味わうことのできる雪小で学べる幸せを感じている。これらの体験を俳句・川柳に表現する取組も非常によいことである。是非続けていって欲しい。
- 雪小は先生方にまとまりがあり、一人一人頑張っておられる。子供たちの可能性を引き出していただいているのでありがたい。保護者との連携、地域との繋がり、子供たちとのふれあい等大変だと思うが、これからもよろしくお願ひしたい。
- 家庭での心の教育の不足を反省。これからも根気強く子育てをしていきたい。俳句での表現活動や無人島探検、文化芸術への参加など、とても貴重な経験をさせてもらい、とてもすばらしいことだと思う。ありがたい。雪小ならではの活動がたくさんあり、子供たちは充実して過ごせていると感じる。  
【回答】子育ては山あり谷ありです。愛情をもって子育てしていけば、必ず子どもは育っていくことと思ひます。焦らず、一步一步頑張っていきましょう。
- 文化庁への舞台芸術の応募、俳句作品の応募、田島での活動等素敵だと思う。小さな学校、少ない人数での学校生活を、外部との連携で、子供たちのわくわく感を高めながら実施できているところがすばらしい。前年度より今年度、今年度より来年度という『日進月歩の心』が素敵すぎる。
- 我が子のことだが、地域での挨拶や積極性に欠けるところがある。親という時は教え諭することができるがひとりの時が心配。  
【回答】先日学校保健委員会で、伊藤先生が「我が子なりに頑張ったことを、他者と比較せず褒めることは大事である」「親のご褒美の言葉で、子どもはもっと行動できるようになる」とおっしゃっていましたが、子どもを信じて優しく見守っていきましょう。
- 学校ではいろいろな活動を経験させてもらっており、子供たちにとってとてもありがたいことだと思ひている。家庭での教育ができていないと今回のアンケートで感じたので、声かけや見守りをしっかりしていきたい。  
【回答】言って聞かせてすぐのできるのであれば苦労はいいません。私なんかは失敗だらけでした。皆さん、焦らず頑張っていきましょう。
- 巡回公園事業や俳句等の取組、無人島遠足もすばらしいと思う。今回のミュージカルや昨年の沖縄歌舞劇団の公演は親も初めて観るもので、子どもにも大人にも大変ありがたい貴重な機会であり感謝している。学校に行った時、子供たちの挨拶が聞こえず少しがっかりであるが、親の方から積極的にしていかなばと考える。  
【回答】挨拶名人めざし、もっともっと力を入れていきます。ありがとうございました。
- 全国各地、学校規模適正配置事業が展開されているが、雪小ではその波にのまれることなく、立地条件・地域の温かみ・保護者の子育て意欲・子供たちの笑顔を学校教育に取り入れた活動をこれまで通り続けて欲しい。

以前にもお話ししましたが、子育てにおいて、学校が果たす部分・親が果たす部分・地域が果たす部分、子ども自身が頑張る部分等様々な部分が存在します。そのような中、皆が考えを同じにして努力していけば、必ずや結果はよい方向に向かっていくものと考えます。

私たち学校は、この学校評価を一つの糧に、『子供たちの健やかな成長』のために皆様と思ひを一つにして更に尽力していく覚悟です。もっともっと土台が頑丈で魅力的な雪浦小学校にしていきます。今後とも、皆様方の御理解・御協力を切にお願ひ申し上げます。

【お知らせ】西海市のホームページに、田島での自然体験学習遠足のブログが掲載されています。パソコンやスマホで『西海市トップページ』にアクセスしてみてください。